

進路室だより

夏休み特集号

—光陰矢の如し—

【発行】

愛媛県立南宇和高等学校
進路課

何のために学ぶのか

校長 島瀬 省吾

「何のために学ぶのか。」就職を希望している人の中にも、進学を希望している人の中にも、勝負の夏休みを前にして、この問いが頭に浮かんで困っているという人は少なくないでしょう。

残念ながら、私は、今学ばなければならない皆さんを十分に納得させる答えを持ち合わせていません。強いて言うなら「何のために学ぶのかは後から分かります。お楽しみに。」ということだけです。

「学校で勉強したことなんて、社会に出てから使うことなんかはないよ。」という話を聞くことがありますが、それはあくまでもその人の人生においてであって、皆さんがその人と全く同じ人生を歩むわけではありません。ひょっとしたら、そう言っている人も、学校で学んだことが知らず知らずのうちに人生に役に立っていたにもかかわらず、そのことに気付いてないだけなのかもしれません。

学ぶことによって得られるものは、そのときに身につく知識や技能だけではありません。他の場合を予想する想像力や、視野や視点の広がりによるより深い思考力、他の事例に活用する応用力なども、何かを学ぶことによって得られますが、これら

は、始めに学んだことから直ちに得ることはできません。後になって、そのような力を発揮する場面になって初めて、過去に学んだことにはこういう意義があったのかと分かる仕組みになっています。「何のために学ぶのかは後から分かります。」というのは、そういうことです。

「あのとき学んでおいてよかった。」とか「あのときもっと勉強しておくんだった。」という話を聞くことはありますが、「あのとき学んでなくてよかった。」という話は聞いたことがありません。少なくとも私はありません。後で何をもらえるか分からないからこそ、今、学ぶことに意義があるのだと考えています。

もし仮に「これを学べばあれが得られます。」と示されていて、示されている「あれ」しか実際に得ることができないのであれば、「これ」を学ぶことが一気につまらなくなってしまうのではないかと私は思っています。

特に、分からない事態に遭遇したときにどのように対応すれば答えに近づけるか、という方法や道筋を数多く学んでおけば、これは極めて汎用性が高いので、全ての人にとって、これからの人生を生きるうえで、非常に心強いと思います。

本当に、後から分かりますよ。

普段の学校生活から

3年学年主任 平田 友志

昨年度の本校の求人数は、県内 208 社、県外 747 社の計 955 社でした。ここ近年で一番求人数が少なかったのは平成 23 年度で、県内 69 社、県外 184 社の計 295 社でしたので、それから比べると県内外とも 3 倍以上もの求人があり、ここ近年では一番多い求人数となりました。ありがたいことに今年度も昨年度と同様に多くの企業から求人が来ています。ただ、企業も人手がほしくて求人を出していますが、誰でも採用する訳ではありません。そのためにも、就職や進学の面接試験などで困らないように、次のようなことに気を付けながら学校生活を過ごしてみてもどうでしょうか。

「あいさつをする」

あいさつはコミュニケーションの出発点であり、第一印象を決定づけるものです。「おはようございます」、「こんにちは」、「よろしく願います」、「ありがとうございました」など一般的なあいさつはできるようにしておきましょう。

「遅刻をしない」

ビジネスにおいて、約束の時間を破ると、相手からの信用を一気に失ってしまうこととなります。早寝早起きを心掛けて、ゆとりを持って学校に登校するようにしましょう。急いで登校していると、事故等に合う確率も上がります。

「相手の目を見て話す」

面接のときに、視線をそらして受け答えをしてしまうと、相手に自分の気持ちや熱意が伝わらず、自信がないような印象を持たれてしまいます。どうしても苦手な人は、まずは相手の額あたりを見て、話をしてみましょう。

「提出期限を守る」

ビジネスでは、決められた期日を守らないとお客さんや会社に迷惑を掛けることとなります。たかが宿題、たかが申込書と侮らず、期限を守るという習慣をつけましょう。

「敬語を使う」

先生と友達のように話をしている場面を時々見かけます。仲が良いというのは良いことなのですが、面接試験などで困ることになります。目上の人と話すときは、敬語を使って話すように心掛けましょう。意外に尊敬語・謙譲語・丁寧語の使い分けは難しいと思います。

他にもまだまだありますが、まずは、上に書いてあることに気を付けてみましょう。特に3年生の就職希望生徒は、できていないと困る場面が出てくるかもしれません。1・2年生もできていない人は、今のうちに直して3年生になったときに困らないようにしましょう。3年生は、2学期に入るときいよいよ就職試験、推薦入試、一般入試などが始まります。しっかりと計画を立てて、有意義な夏休みを過ごしてもらいたいと思います。

高校生活から見つめる現代社会

3年4組 担任 池田 誠

高校時代は人生において楽しい時間ではありません。時間はないしお金もないという悪条件が重なっています。高校時代とは基本的にしんどいですが、人生において平等に与えられたラストチャンスでもあります。今みなさんがすべきことを一つ挙げるならば、「毎日の授業を大切にすること」です。1日7時間ほどの時間を費やしている授業をおろそかにしている人は、いかに効率が悪いか容易に想像できるでしょう。勉強は努力の積み重ね。努力できるかどうかも含めて実力とはまさにその通りです。皆さんは、「やればできる」などと当たり前のことを口にせず、黙って努力する人になってください。

また、入試は一回限りの勝負です。普段通りが出せれば最高。体調万全で勝負できるとは限らず、結果のみが評価されるので

す。皆さんには、自分を甘やかさず、結果と素直に向き合うことができる精神力を持ちましょう。

「今楽しければよい」という刹那主義の考えを持てば、高校時代は楽しい時間かもしれません。しかし、その考え方で生活すると、日本のもつ社会構造そのものがあなた方を苦しめることになるでしょう。大学に行こうが就職しようが、やはり勉強する力や努力する力は絶対的に必要です。唯一平等に与えられた「時間」を最大限に活用できる人になりましょう。

ただし、人間はそこまで頑丈にできていません。緊張の糸が張り詰めすぎると、いつか切れてしまいます。過ぎたるは及ばざるが如し。行き詰まったときには一休みし、心身共に健康な状態で生きることが豊かな生活の大前提。多くのタスクをこなしながらも、心に余裕のある生活を送りたいですね。

「人生を考える」

3年2組 担任 金子 晃大

みなさんは、自分の人生をどれぐらい先まで考えていますか。10年、20年先まで考えている人もいれば、明日のことすら考えていないという人もいるでしょう。私自身は、高校生の時点で教員になりたいという目標を持ち、地元である愛媛県で、その時得意であった数学を教えたいと考えていました。そう考えると、私の人生設計は高校生の段階でそれなりに見通しがあったのだと思います。

では、みなさんはどうでしょうか。いきなり将来のことを聞かれても難しいでしょうか。しかし、3年生は早い人で9か月後には社会人として、働くこととなります。そこで、「自分の人生」に対する考え方をお話したいと思います。これから先の人生を考える時、大きく分けて二つの考え方があると思います。

一つは、目標を設定し、それを達成するために逆算して、現在の自分がすべきことを考える方法です。これは、一般的な気

もしますが、非常に難しいようにも感じます。いきなりゴールを決めて、そこに向かって走り続けるためには、相当なエネルギーと決意が必要です。

もう一つの考え方は、現在の自分の力量や取組を見つめて、このままいくとどんな選択ができるか考える方法です。今の自分と向き合い、今の自分の手が届く将来をどんどんイメージしていきます。もちろん、実現不可能な選択肢は考えず、より現実的な想像をしてみてください。選択の先には、どのような将来が待っていましたか。

人生は選択の連続であり、その一つ一つを的確に選ぶ力は大切ですが、大前提として選択肢が無ければ、選ぶことすらできません。選択肢を増やすためには、自分を磨かなくてはなりません。日々の勉強や部活動、学校行事などは自分を磨くための、最も身近な方法です。選択肢が一つしかない消極的な人生よりも、多くの中から自分で選んでいけるような人生を歩んでみたことはありませんか。

充実した高校生活を！

1年3組 副担任 久保田 紗智

私が高校生のときは数学漬けの毎日でした。高校3年生のときは、よく机の上に数学の記述模試の問題が置いてありました。

「完璧な解答を書いて提出しなさい」と。昼休み中や部活動が終わったあとにクラスのみんなで集まり問題集で同じような問題を探して、知恵を出し合い、わからない、わからないと言い合いながら解いていました。当時は「なんでこんなに数学ばかり・・・」と文句も言っていました。

その先生に教えていただいた話で印象に残っているものがあります。「勉強というものはいいものだ。代数や幾何の勉強が、学校を卒業してしまえば、もう何の役にも立たないものだ」と

思っている人もあるようだが、大間違いだ。植物でも、動物でも、物理でも化学でも、時間のゆるす限り勉強して置かなければならぬ。日常の生活に直接役に立たないような勉強こそ、将来、君たちの人格を完成させるのだ。(中略)全部忘れてしまっても、その勉強の訓練の底に一つかみの砂金が残っているものだ。」これは太宰治の『正義と微笑』の一部だそうです。

私も高校数学はあまり思い出せません。しかし、中学生や大学生のときよりも、高校生のときの勉強や部活動に全力で取り組んでいたあの時間が今の私にとってとても重要な時間だったと思います。みなさんはどんな高校生活を過ごしていますか？忙しい毎日で勉強がしんどくなる時もあると思います。そのときは少し休んでリフレッシュしてからまたがんばってください。高校生は将来の自分への投資の時間です！

就職した先輩の声

株式会社フジ

普通科 女子

研修では、会社の概要や経営理念、レジの操作などを学びました。研修中は厳しいこともたくさん言われましたが、新入社員のことを思って言ってくれたのだと思います。高校の頃は先生方が分からないことを教えてくれていたのですが、仕事では自分が聞かないと教えてくれません。今は、いち早く仕事に慣れるように頑張っています。自分一人の行動が、会社にとってマイナスになってしまうことがあるかもしれないので、責任を持って、行動をしたいと思っています。

就職活動をしていくにあたって不安なことがたくさんあると思います。そんな時は先生や先輩に相談するといいいと思います。不安なまま面接に臨むと困る場面があります。不安や疑問はそのままにしておかないことが大切です。勉強や面接練習など大変だと思いますが頑張ってください。

株式会社ホテル八千代

普通科 女子

こういった職業なので、ゴールデンウィークなどの期間には、お客様が多くなり、残業も時にはあります。しかし、お給料を頂くということがはじめてで、仕事が大変だった分、その時はとてもうれしかったです。お金の大切さ、親の苦勞もよくわかりました。今まで育ててくれた親への感謝の気持ちとして、プレゼントを贈ろうと思っています。

社員の方々はとても良い人ばかりで、時に優しく時に厳しくご指導いただきながら働いています。そのような指導の中で、一番大切だと感じたことは、「観察力」の必要性です。困っている方に気付き、声を掛けることなどは、働いていてよくあります。また、学校生活でも同じですが、「おはようございます」、「お疲れ様です」などの挨拶は大切だと実感しています。

しんどさも当然ありますが、私自身、毎日楽しく働いています。皆さんにも、仕事についてポジティブに前向きなイメージを持ってほしいです。今後の進路実現を応援しています。

これからのスケジュール

【就職】

- 7月19日(金) …… 幹旋就職希望者指導①
22日(月)～31(水) …… 第2回面接指導
8月1日(木) …… 幹旋就職申込書提出
8日(木) …… 幹旋就職希望者指導②
19日(月)～23(金) …… 第3回面接指導
9月5日(木) …… 第4回面接指導
5日(木) …… 就職書類発送
16日(月) …… 就職採用試験開始

【進学】

- 7月22日(月)～31(水) …… 夏季課外(前期)
8月5日(月)～6(火) …… 全統マーク模試
8月19日(月)～23(金) …… 夏季課外(後期)
17日(土)～18(日) …… 県学力テスト②(3年)

★ 就職も進学も、スケジュールをよく確認して計画的な準備をしていきましょう！

日本郵便株式会社 四国支社

農業科 男子

高校を卒業して、早2か月が過ぎようとしています。4月より、松山・高知での3週間の研修を終え、配属先での勤務が始まりました。郵便業務、銀行業務、保険業務など、仕事の内容を覚えることが多く大変ですが、先輩方に教えていただきながら働いています。

南宇和高校では、海外研修事業などに参加することができ、貴重な経験ができました。就職には勉強も大切ですが、学校行事やボランティア、地域の行事などに積極的に参加し、色々な人とコミュニケーションを取ることも大切になります。高校生の時は、先生方が色々と助けてくれましたが、社会人になると自分から動かないと誰も助けてくれません。また、資格なども積極的に取っておくことをオススメします。

皆さん南宇和高校で、充実した高校生活を過ごしてください。



夏休みの勉強法

～自分の状況に合った勉強法を探してみよう～

国語

- 新聞を読んだり読書をしたりして、読解力や感性を磨くこと。(特に新聞のコラムや社説)
★時間はかかるが、結局は国語力の近道となる。
●1年生の古典は、1学期に学んだことを復習しておくこと。(文法書をはじめから見直そう)
★高校で新たに身につける内容は、8割近くが1年生で学習する事項。1年生の古典を制する者は、高校古典を制す。
●入試で小論文が必要な人は、自分の進路に関する本を読んでおくこと。
★小論文は、テーマに関する知識無しで書くと、ただの作文になる。
●問題集を解き、疑問点を解決するように努めること。
★知識をコレクションするだけでは問題は解けない。理解して初めて意味がある。特に3年生は、これまでの努力を無駄にしないように。

地歴・公民 ◎は特に3年生は必見

- 【日本史】
◎理解していない暗記では厳しい。授業で理解したことを、家で復習し、模試で確認するという習慣をつけよう。
●教科書・ノートをもう一度最初から読む。
◎自分がどの部分が苦手なのかを把握し、苦手な範囲を重点的に復習しよう。
【地理】
◎苦手分野を残しておかないこと。(3年生は特に。地形図、図法、民族は大丈夫?)
◎模試を柱にして予定を立てよう。
●広く広く、色々な知識を身につけよう。
●地図帳や図表をよく読もう。
【政治経済】
◎取り組みやすいと思うセンター用問題集を用意し、この夏集中して取り組もう。
●わからないことを積極的に先生に質問しよう。
◎授業のプリントは繰り返し解いて必ずマスターしよう。

理科

- 【全般】
●学習時間を確保してこつこつ取り組む。
●1学期に習ったところの復習を徹底的にする。
●確実な計算力を身につけること。
●自然現象を注意深く観察する。
●毎日の生活の中で、疑問を抱く。
●新聞に目を通し、特に環境や医療問題に関する記事には注目する。
●なぜそうなるのかという疑問を持って、教科書を隅から隅まで読み、疑問点を解決しよう。

理科 ◎は特に3年生は必見

- 【物理】
◎物理の教科書をじっくりと読み返すこと。
◎問題を見たらすぐに解くのではなく、どの法則があてはまるかを書いて、解き始めること。
◎セミナー物理基本問題をもう一回自分で解く。
【化学】
◎模試の後には、模試の類問を問題集で解こう。
●問題集を最低2回確実にやる。特に、答え合わせに力を入れること。○や×をつけるだけでなく正しい答えに至る考え方を大切にすること。
●全体の概要をつかむようにしよう。
●規則性に注目しよう。
【生物】
●課題を確実にこなし、考え方をマスターする。
●苦手な人は、問題集などを何回も解く。
【地学】
●地震、台風、宇宙のニュースは最後まで見ること。
●この機会に、表や図を覚えよう。

数学

- 【センター試験受験生】
●過去問や演習問題を解く際は、時間を測って自己採点する。
●出題者の意図を読み取る。
●定理の成り立ちを確認する。
★以上の点に注意すれば10点アップは確実。
【全般】
●数学の見方、考え方の習得も大きく自分を成長させられると思うこと。そして、日々無理のない学習計画を立て、こつこつと問題を解くこと。「継続は力なり」
●1年生は、2次関数の式変形や条件に応じた解法の流れを理解すること。また、計算練習をしっかりとしておくこと。
●2年生は、公式の復習を行い、整理しておく。特に、関数の特徴や解法の見通しを意識して学習すること。
●3年生は様々な問題を解き、その解法を身につけておく。なぜそうなるのか、しっかりと考えるようにすること。

英語

- 【1・2年生】
●1学期に学んだことをしっかりと復習すること。
●基礎を確認した上で、じっくり問題集に取り組むなど、プラスαの勉強をしてみよう。
●苦手な人は、前学年の内容の再チェックをやりましょう。(1年生は中学校の内容の確認を)
【3年生】
●時間を決めて速読の練習を。
●問題集の解き直し。(重要事項が詰まっています)
●自分の学力をじっくり考えて、語彙力の強化(単語・イディオム)や、リスニングもやってみましょう。
●志望校の過去問の研究も始めましょう。
☆英語は、ちょっとやったらすぐに結果の出る教科ではありません。粘り強くあきらめず、毎日継続して勉強してきましょう。